

□全体プログラム (Full Program)

日本地震工学会・大会－2022 全体プログラム  
Full program - JAEE Annual Meeting 2022

15th of December 於：北海道大学 学術交流会館

講堂 (A 会場)	小講堂 (B 会場)	第 1 会議室 (C 会場)
開会の挨拶・会長挨拶 (9:40-9:50)		
基調講演：京都大学大学院工学研究科 高橋良和 教授 (9:50-10:20)		
A-11 震源特性-1 (10:30-12:00)	B-11 社会問題-1 (10:30-12:00)	C-11 建築構造物-1 (10:30-12:00)
A-12 震源特性-2, 地下構造 (13:00-14:15)	B-12 社会問題-2 (13:00-14:30)	C-12 建築構造物-2 (13:00-14:30)
A-13 地盤震動-1 (14:30-16:00)	B-13 社会問題-3 (14:45-16:15)	C-13 建築構造物-3 (14:45-16:15)
将来構想委員会 (16:25-16:45)		
令和3年度日本地震工学会各賞贈呈式・受賞記念講演 (16:55-18:00)		

16th of December 於：北海道大学 学術交流会館

講堂 (A 会場)	小講堂 (B 会場)	第 1 会議室 (C 会場)
A-21 地盤震動-2 (9:00-10:30)	B-21 社会問題-4 (9:00-10:30)	
A-22 地盤震動-3 (10:40-12:10)	B-22 社会問題-5 (10:40-12:10)	特別企画 (10:40-12:20)
A-23 地盤震動-4, 地下構造, 津波・歴史地震・その他 (13:00-14:30)	B-23 社会問題-6 (13:00-14:30)	C-23 被害調査など-1 (13:00-14:15)
A-24 津波・歴史地震・その他 (14:40-15:55)		C-24 被害調査など-2 (14:30-15:45)
招待講演：IAEE Executive-Vice-President Gian Michele Calvi 教授 (16:00-16:50)		
年次大会表彰式 (16:55-17:15)		

懇親会は中止となりました

**日本地震工学会・大会－2022 全体プログラム**  
**Full program - JAEE Annual Meeting 2022**

15th of December 於：北海道大学 学術交流会館

第2会議室 (D会場)	第3会議室 (E会場)	第4会議室 (F会場)
D-11 土木構造物-1 (10:30-12:00)	E-11 杭および基礎構造-1 (10:30-12:00)	F-11 免震・制振・ヘルスマニタリング-1 (10:30-12:00)
D-12 土木構造物-2, 地盤と構造物の相互作用-1 (13:00-14:30)	E-12 建築構造物-4, 耐震補強, 新しい構造・材料・その他 (13:00-14:45)	F-12 免震・制振・ヘルスマニタリング-2 (13:00-14:30)
D-13 地盤と構造物の相互作用-2 (14:45-16:15)		F-13 免震・制振・ヘルスマニタリング-3 (14:45-16:15)

16th of December 於：北海道大学 学術交流会館

第2会議室 (D会場)	第3会議室 (E会場)	第4会議室 (F会場)
D-21 English Session/Ground motion/Civil structure (9:00-10:30)	E-21 建築構造物-5 (9:00-10:30)	F-21 免震・制振・ヘルスマニタリング-4 (9:00-10:30)
D-22 English session/Buildings and houses/Base isolation/structural control/health monitoring-1 (10:40-12:10)	E-22 構造物 その他 (10:40-12:10)	F-22 免震・制振・ヘルスマニタリング-5, 建築構造物-8 (10:40-12:10)
D-23 English session/Base isolation/structural control/health monitoring-2 (13:00-14:15)	E-23 建築構造物-6 (13:00-14:30)	F-23 建築構造物-9 (13:00-14:15)
D-24 English session/Base isolation/structural control/health monitoring-3, Disaster mitigation plan/risk management/socio-economic issues (14:30-15:45)	E-24 建築構造物-7 (14:30-15:45)	F-24 地中構造物およびダム (14:30-15:30)

□基調講演・招待講演, 将来計画委員会及び特別企画 (Keynote and Invited lectures, Future Vision Study Committee, Special event)

基調講演 (Keynote lecture)

2022年12月15日 9:50-10:20

京都大学大学院工学研究科 高橋良和 教授

「日本最大の高精度実大免震試験機の開発とその研究・産業分野における利活用戦略」

招待講演 (Invited lecture)

2022年12月16日 16:00-16:50

IAEE Executive-Vice-President Gian Michele Calvi 教授

“Towards loss-based approaches for seismic assessment and strengthening”

将来構想委員会 (Future Vision Study Committee Interim Report (Draft))

2022年12月15日 16:25-16:45

「将来構想検討WG 中間報告 (仮)」

日本地震工学会の将来構想について一昨年度より検討を進めてきた結果について報告いたします。

特別企画 (Special event)

2022年12月16日 10:40-12:20

「学生と技術者のお茶会 (仮)」

地震工学を学ぶ学生と若手の技術者・研究者が地震工学の「仕事」や「将来」について語り合います。

[全体プログラムへ戻る](#)

□一般講演 (General presentations)

各発表の持ち時間：15分（発表時間12分＋質疑3分）

Each presentation: 15min (Presentation 12min + Discussion 3min)

◎：優秀発表賞対象者

◎：Candidate for Excellent Presentation Award

優秀発表賞の表彰は12月16日16時55分からの表彰式にて実施予定

Excellent Presentation Award will be announced at the Awards Ceremony on 16th of December at 16:55

A-11 15th of December 10:30-12:00

震源特性-1 Focal mechanism-1

Chairperson: 久保 久彦 (防災科学技術研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-11-1	TS_20220053	東北太平洋沖で近年発生したスラブ内地震の広帯域震源特性	芝 良昭 (電力中央研究所)
A-11-2	TS_20220055	経験的グリーン関数法を用いた2022年3月16日福島県沖の地震の強震動生成域の推定	新井健介 (清水建設 株式会社)
A-11-3	TS_20220024	内陸地殻内地震の震源断層の強震動生成領域データによる面積と短周期レベルの経験式的設定	藤堂正喜 (大崎総合研究所)
A-11-4	TS_20220027	強震波形インバージョンによる2016年熊本地震の断層破壊過程の推定	大島光貴 (株式会社 大崎総合研究所)
A-11-5	TS_20220056	震源インバージョン結果に基づく地震発生地域を考慮した海溝型地震のスケーリングの評価	長嶋史明 (京都大学防災研究所)
A-11-6	TS_20220207	2022年3月16日に発生した福島県沖 (MJ7.4) の地震の震源過程解析	南雲秀樹 (東電設計 (株) ) 全体プログラムへ戻る

A-12 15th of December 13:00-14:15

震源特性-2, 地下構造 Focal mechanism-2, Underground profile

Chairperson: 長嶋 史明 (京都大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-12-1	TS_20220141	東京湾直下プレート内地震の MeSO-net データを用いた経験的グリーン関数法シミュレーション	◎久保 久彦 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)
A-12-2	TS_20220238	単点微動 H/V ピーク周期から推定した京都盆地南部～奈良盆地の基盤構造	吉見雅行 (産業技術総合研究所)
A-12-3	TS_20220263	常時微動アレイ観測記録に対する主成分分析の適用性検討 その2 主成分による平面波の合成	成田修英 (戸田建設)
A-12-4	TS_20220128	東京湾西岸部における1次元浅部深部統合地盤モデルの構築	津野靖士 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
A-12-5	TS_20220050	神奈川県央地区相模川左岸の軟弱地盤層厚と常時微動測定結果の比較	年縄 巧 (明星大学)
			全体プログラムへ戻る

A-13 15th of December 14:30-16:00

地盤震動-1 Ground motion-1

Chairperson: 大島 光貴 (清水建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-13-1	TS_20220017	ユーイング円盤記録式強震計による1923年関東地震の記象の解析 その3 SE-NW成分の波形についての予備的検討	翠川三郎 (東京工業大学)
A-13-2	TS_20220261	相馬港における臨時地震観測および常時微動観測	◎長坂陽介 (港湾空港技術研究所)
A-13-3	TS_20220015	令和元年東日本台風通過時に神奈川県東部で観測された脈動について — MeSo-net 記録を用いた解析 —	植竹富一 (東京電力ホールディングス)
A-13-4	TS_20220245	周期2秒程度で揺れの数が多い危険な地震動の発生条件に関する検討	◎藤田雄大 (京都大学大学院)
A-13-5	TS_20220137	高密度な観測 SI 値に基づく首都圏の揺れ易さの統計的な評価 (その2)	末富岩雄 (株式会社 エイト日本技術開発)
A-13-6	TS_20220177	地震動観測記録と地震動予測モデルによる予測値との残差の予備的分析 — 強震動統一データベース試作版を用いた検討 —	森川信之 (防災科学技術研究所)
			全体プログラムへ戻る

A-21 16th of December 9:00-10:30

地盤震動-2 Ground motion-2

Chairperson: 小穴 温子 (清水建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-21-1	TS_20220035	DEVELOPMENT OF PREDICTION EQUATION ON LONG PERIOD GROUND MOTION FOR EARTHQUAKE EARLY WARNING IN BANGKOK	◎ LI XIHAN (Kyoto University)
A-21-2	TS_20220143	モード分解と機械学習に基づく地震動分布の予測モデル	◎高橋幸宏 (岐阜大学大学院)
A-21-3	TS_20220044	ガウス過程回帰を用いた地震動予測モデル作成の試み	◎久保久彦 (防災科学技術研究所)
A-21-4	TS_20220037	強震動データベースと地震動 H/V スペクトル比に基づく地震動予測のための深層学習モデルの構築	◎ PAN DA (広島大学)
A-21-5	TS_20220052	地震動 H/V スペクトル比の機械学習による横浜市の揺れやすさ評価に向けた基礎検討	◎久保田 将史 (千葉大学大学院)
A-21-6	TS_20220071	多出力ガウス過程回帰によるサイト固有の地震動予測に関する基礎的研究	◎赤羽日向 (東京大学大学院)

全体プログラムへ戻る

A-22 16th of December 10:40-12:10

地盤震動-3 Ground motion-3

Chairperson: 長坂 陽介 (港湾空港技術研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-22-1	TS_20220013	画像分類とルールベースに基づく地震観測記録の採否判定システムの試作と課題	◎小穴温子 (清水建設)
A-22-2	TS_20220138	地震波伝播の即時把握へ向けた Wave gradiometry の活用可能性の検討	◎小木曾 仁 (気象庁気象研究所)
A-22-3	TS_20220230	高詳細三次元地盤震動解析手法の開発と、地盤歪のボリュームデータ可視化に関する基礎検討	◎藤田航平 (東京大学地震研究所)
A-22-4	TS_20220192	2次元等価線形化法を用いた地盤急変部が地表地震動分布に及ぼす影響－2019年山形県沖の地震を対象に小岩川地区の被害の評価－	◎蓮岡大我 (長岡技術科学大学)
A-22-5	TS_20220072	腐植土を有する谷底低地の谷幅の違いと基底面の不整形性が地震時の地盤挙動に及ぼす影響	◎松橋 求 (東京電機大学大学院)
A-22-6	TS_20220129	盆地端部の複雑な基盤段差構造の形状と地盤増幅特性の関係	◎松島信一 (京都大学防災研究所)

全体プログラムへ戻る

A-23 16th of December 13:00-14:30

地盤震動-4, 地下構造, 津波・歴史地震・その他 Ground motion-4, Underground profile, Tsunami, historical earthquake and others

Chairperson: 藤田 航平 (東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-23-1	TS_20220125	J-SHIS で公表されている表層 30m の平均 S 波速度についての青森県内での妥当性について	片岡俊一 (弘前大学)
A-23-2	TS_20220100	ランダム振動論に基づく非線形地盤増幅特性評価法の検討	◎伊藤海斗 (千葉大学大学院)
A-23-3	TS_20220042	ランダムフォレストを用いた豪雨による土砂崩壊発生地点の予測	◎桑折奎吾 (千葉大学大学院)
A-23-4	TS_20220281	浅層改良としての丸太圧入の液状化対策効果に関する基礎的検討	◎伊藤らな (東京大学大学院 社会基盤学専攻)
A-23-5	TS_20220136	水平 2 方向入力地震動に対する砂地盤の非線形応答に関する解析的検討	◎浅見健斗 (群馬工業高等専門学校)
A-23-6	TS_20220250	実斜面における人工震源を用いた弾性波モニタリングによる降雨前後にみられた弾性波速度変化	◎中山雅之 (立命館大学総合科学技術研究機構)

全体プログラムへ戻る

A-24 16th of December 14:40-15:55

津波・歴史地震・その他 Tsunami/historical earthquake and others

Chairperson: 小木曾 仁 (気象庁)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-24-1	TS_20220142	海溝型地震の長期評価に基づく 4 海域統合確率論的津波ハザードの試算－千島海溝・日本海溝・相模トラフ・南海トラフ沿いを対象として－	◎土肥裕史 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
A-24-2	TS_20220033	重錘形圧力天びんによる圧力計の連続印加実験－海底津波計の高度利用に向けて－	松本浩幸 (海洋研究開発機構)
A-24-3	TS_20220176	南海トラフ巨大地震の発生条件つきハザード評価に基づく津波対策レベルの評価手法の提案	◎張 学磊 (応用地質株式会社)
A-24-4	TS_20220099	南海トラフにおける先発・後発地震の時系列を考慮した確率論的津波ハザード評価	◎焦 禹禹 (岐阜大学大学院)
A-24-5	TS_20220062	航空レーザ計測データを用いた 2016 年熊本地震と豪雨の複合災害による土砂移動域の検出	◎劉 ウェン (千葉大学)

全体プログラムへ戻る

B-11 15th of December 10:30-12:00

社会問題-1 Social Issues-1

Chairperson: 崔 青林 (防災科学技術研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-11-1	TS_20220114	航空写真に基づく道路路面の地震被害モードの検出	◎近藤 陸 (筑波大学理工情報生命学術院)
B-11-2	TS_20220036	Sentinel-1 衛星の時系列干渉 SAR 解析による和歌山市六十谷水管橋の崩落前の変位	松岡昌志 (東京工業大学)
B-11-3	TS_20220202	複数 UAV による災害時緊急支援物資輸送最適化モデルの構築	◎蜂屋大樹 (東北大学工学研究科)
B-11-4	TS_20220191	UNDERSTANDING DEEP LEARNING MODEL 'S TRANSFERABILITY FOR BUILDING DAMAGE CLASSIFICATION	◎ Sesa Wiguna (Tohoku University)
B-11-5	TS_20220119	GAN と Semantic Segmentation を用いたマスク付き擬似建物画像による建物被害判定 CNN の構築	◎山田晴香 (東京理科大学大学院)
B-11-6	TS_20220019	ランダムフォレストと深層学習を組み合わせた建物被害判別モデル	内藤昌平 (防災科学技術研究所)

全体プログラムへ戻る

B-12 15th of December 13:00-14:30

社会問題-2 Social Issues-2

Chairperson: 肥田剛典 (茨城大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-12-1	TS_20220167	TSUNAMI BUILDING DAMAGE REPRESENTATIONS USING SIMPLE MACHINE LEARNING METHODS	◎ Ruben Vescovo (東北大学工学研究科)
B-12-2	TS_20220058	2016 年熊本地震前後の航空レーザ計測データを用いた南阿蘇村の層破壊建物の抽出	山崎文雄 (防災科学技術研究所)
B-12-3	TS_20220038	地震被害建物の検出に向けた航空レーザ測量データへの CNN の適用	◎籠嶋彩音 (千葉大学融合理工学府)
B-12-4	TS_20220195	地震被害推定を目的とした大開口建物数の推定方法の検討	◎来 海峻 (京都大学大学院)
B-12-5	TS_20220034	集客施設の地震映像へのアノテーションによる被害抽出結果の分析	東 宏樹 (筑波大学)
B-12-6	TS_20220065	マルチスケール入力と深層学習を用いた路面標示セグメンテーション	◎ゴシュンケツ (千葉大学)

全体プログラムへ戻る

B-13 15th of December 14:45-16:15

社会問題-3 Social Issues-3

Chairperson: 宮腰淳一 (清水建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-13-1	TS_20220126	地震時の室内状況を撮影した動画による人間の転倒検知法	肥田剛典 (茨城大学大学院)
B-13-2	TS_20220267	南海トラフ巨大地震の多様性を考慮した長継続時間・広帯域地震動シミュレーション	前田宜浩 (防災科学技術研究所)
B-13-3	TS_20220092	南海トラフ巨大地震の多様性を踏まえたリスク試算一半割れケースを例に—	中村洋光 (防災科学技術研究所)
B-13-4	TS_20220094	地震動の空間相関を考慮した広域を統合したリスク評価手法の検討	中村洋光 (防災科学技術研究所)
B-13-5	TS_20220018	地震動・津波を受ける道路ネットワークの確率論的接続性の評価法および補強優先度判定への適用	◎青木康貴 (早稲田大学大学院)
B-13-6	TS_20220098	南海トラフ地震による直接被害額の被害想定-震度とストック量の分布を考慮した試算-	崔 青林 (防災科学技術研究所)

全体プログラムへ戻る

B-21 16th of December 9:00-10:30

社会問題-4 Social Issues-4

Chairperson: 水井良暢 (筑波大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-21-1	TS_20220154	津波浸水域内人口の生存可能性に着目した動的解析	◎石垣雅生 (東北大学工学部)
B-21-2	TS_20220236	1995年兵庫県南部地震における住民の脱出・救出に関する分析	小山真紀 (岐阜大学流域圏科学研究センター)
B-21-3	TS_20220061	地震時の潜在的凍死者救助にかかる必要救助活動参加者数の推定-北海道札幌商圏・函館商圏・稚内商圏を対象として-	◎飯田彬斗 (株式会社エイト日本技術開発 EJイノベーション技術センター)
B-21-4	TS_20220168	小型地震計ネットワークによる地震災害時の地域・施設群モニタリング	都築充雄 (名古屋大学減災連携研究センター)
B-21-5	TS_20220218	南海トラフ地震の多様性を考慮したエレベータ障害復旧評価モデルの構築	◎鈴木明子 (小堀鐸二研究所)
B-21-6	TS_20220209	社会動向の不確実性を考慮した自然災害に対するBCP策定方法	加藤一紀 (大林組 技術研究所)

全体プログラムへ戻る

B-22 16th of December 10:40-12:10

社会問題-5 Social Issues-5

Chairperson: 倉田和己 (名古屋大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-22-1	TS_20220235	自然災害の対策に向けたインフラ施設別の被害状況の分析	◎水谷 由香里 (株式会社大林組 技術研究所)
B-22-2	TS_20220274	地方公共団体の災害時の電源確保と情報受信体制に関する基礎調査	◎橋本千宙 (東京大学大学院)
B-22-3	TS_20220026	液化化ハザードマップに考慮されない液化化し易い人工改変地	安田 進 (東京電機大学)
B-22-4	TS_20220011	賃貸住宅居住者の地震時室内リスク軽減を目的とした賃貸住宅選択手法	中嶋唯貴 (北海道大学)
B-22-5	TS_20220199	訓練と意向調査と実災害にみる津波避難開始行動の特徴	◎山本桃華 (関西大学)
B-22-6	TS_20220054	災害ボランティアセンター作業管理データに基づく家屋片付け作業量の推定—大阪府における将来の地震災害—	水井良暢 (筑波大学 理工情報生命学術院)
			全体プログラムへ戻る

B-23 16th of December 13:00-14:30

社会問題-6 Social Issues-6

Chairperson: 小山真紀 (岐阜大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-23-1	TS_20220241	首都圏の高齢者福祉施設におけるマルチハザードに対する防災対策に関する基礎データの収集 その1 概要および研究対象施設	◎劉 虹 (東京理科大学)
B-23-2	TS_20220244	首都圏の高齢者福祉施設におけるマルチハザードに対する防災対策に関する基礎データの収集 その2 データ調査および避難事例に関するヒアリング調査	◎香取由真 (東京理科大学)
B-23-3	TS_20220183	社会インフラの強靱化を目的とした組織間連携の演習—道路啓開を題材とした災害対応疑似体験オンラインツールの開発と試行—	倉田和己 (名古屋大学)
B-23-4	TS_20220090	富士北麓地域における防災教育支援システムの開発	久保智弘 (山梨県富士山科学研究所)
B-23-5	TS_20220289	地震災害時における小学生の登下校時の行動に関する基礎的分析—金沢大学附属小学校の低学年児童を対象として—	◎森脇佑太 (金沢大学大学院)
B-23-6	TS_20220292	旅行情報サイトに投稿された口コミデータを利用した地震発生前後の観光地に対する印象の比較	◎馬場優大 (金沢大学)
			全体プログラムへ戻る

C-11 15th of December 10:30-12:00

建築構造物-1 Buildings and houses-1

Chairperson: 日比野陽 (名古屋大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-11-1	TS_20220010	RC 造柱梁部材の降伏点変形角のばらつきが建物の性能曲線における降伏点変形に与える影響	◎王 澤霖 (東京大学大学院)
C-11-2	TS_20220185	鉄筋コンクリート造片側袖壁付き柱の破壊形式の判別法に関する研究	◎史 可撃 (東京大学)
C-11-3	TS_20220111	実大5層壁式架構試験体を対象とした構造的な性能評価に関する解析的研究	◎太田あゆみ (東京理科大学)
C-11-4	TS_20220260	1層のみに新設開口を設けたRC造実大連層耐力壁架構の有限要素解析	谷 昌典 (京都大学)
C-11-5	TS_20220051	漸増動的解析と等価線形化による柱梁強度比の異なる骨組の耐震性能評価	◎一戸和樹 (東京大学大学院)
C-11-6	TS_20220073	『V』の字型平板状RC建物の耐震性能評価と地震応答予測に関する研究	◎伊澤貴大 (千葉大学大学院)

全体プログラムへ戻る

C-12 15th of December 13:00-14:30

建築構造物-2 Buildings and houses-2

Chairperson: 米澤健次 (大林組)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-12-1	TS_20220224	修正圧縮場理論による柱型のある耐震壁のせん断強度評価法	◎肖 子凌 (東京大学)
C-12-2	TS_20220107	躯体改造された壁式鉄筋コンクリート造共同住宅の構造性能評価	◎三角和歩 (東京理科大学)
C-12-3	TS_20220106	RC造無開口耐震壁の3本柱置換モデルにおける曲げ剛性評価精度の検討	◎北村 創 (東京理科大学)
C-12-4	TS_20220109	鉄筋コンクリート造両側袖壁付き柱の曲げ及びせん断変形分布の分析	田尻清太郎 (東京大学大学院)
C-12-5	TS_20220134	機械学習を用いた鉄筋コンクリート部材の地震時損傷度推定	日比野陽 (名古屋大学)
C-12-6	TS_20220069	あと施工部分スリットを設けた損傷抑制RC方立壁の構造性能に関する実験的研究	◎山根雅由 (大阪工業大学工学研究科)

全体プログラムへ戻る

C-13 15th of December 14:45-16:15

建築構造物-3 Buildings and houses-3

Chairperson: 谷昌典 (京都大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-13-1	TS_20220057	方杖型ダンパー付きRC造外付け耐震補強を施した梁せん断破壊型既存RC造部分架構の力学挙動	◎毎田悠承 (東京大学)
C-13-2	TS_20220123	せん断余裕度の異なる実大RC梁の損傷推移に関する実験的研究	◎野本晟矢 (大阪工業大学工学研究科)
C-13-3	TS_20220133	RC造L形柱梁接合部に機械式定着された柱主筋の定着耐力に関する実験的研究	◎宇田啓志 (大阪大学大学院)
C-13-4	TS_20220113	高変動軸力が作用するRC造ト形柱・梁接合部の曲げ降伏後の軸崩壊発生条件に関する検討	◎萩原 大樹 (東北大学)
C-13-5	TS_20220007	高強度鉄筋を用いた柱RC-梁S接合構法におけるト形接合部の構造性能に対する実験的・解析的検討	米澤健次 (株式会社 大林組 技術研究所)
C-13-6	TS_20220096	震害を受けた鉄筋コンクリート部材実験のデータベースによる剛性・耐力・履歴減衰の補修による回復度評価	◎参川 朗 (東北大学大学院)

全体プログラムへ戻る

C-23 16th of December 13:00-14:15

被害調査など-1 Earthquake Damage Investigation/Reconnaissance Report-1

Chairperson: 郷右近英臣 (北陸先端科学技術大学院大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-23-1	TS_20220059	神社鳥居の地震時挙動と耐震性に関する考察 (その1. 地震被害の調査)	関 松太郎 (建築研究所)
C-23-2	TS_20220131	熊本地震で杭基礎が破壊した RC 造建物の損傷に関する解析的分析	◎天野友哉 (大阪大学大学院)
C-23-3	TS_20220025	2022 年 3 月の福島沖の地震における盆地の揺れの分析	鈴木崇伸 (東洋大学)
C-23-4	TS_20220147	サイバー空間における被災都市データベース構築の試み	◎富永佳吾 (北海道大学大学院)
C-23-5	TS_20220029	2022 年 3 月に発生した福島県沖の地震における企業の被災実態に関するアンケート調査結果	清水智 (京都大学防災研究所)

全体プログラムへ戻る

C-24 16th of December 14:30-15:45

被害調査など-2 Earthquake Damage Investigation/Reconnaissance Report-2

Chairperson: 清水智 (応用地質株式会社)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-24-1	TS_20220063	昭和東南海地震・三河地震・昭和南海地震の報道管制と被害要因の一考察	大角恒雄 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
C-24-2	TS_20220048	姿勢制御機能が無効化されたドローン操縦における操縦技術の評価と分析	◎和田 正太郎 (北陸先端科学技術大学院)
C-24-3	TS_20220291	ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した地震災害の状況把握システムの構築	◎諏訪太紀 (金沢大学大学院)
C-24-4	TS_20220248	TEXT MINING OF CASCADING EFFECTS OF DISASTERS	◎ Xuanyan DONG (International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University)
C-24-5	TS_20220088	Wildlife 液状化アレーの間隙水圧記録に対する再検討	吉田 望 (関東学院大学)

全体プログラムへ戻る

D-11 15th of December 10:30-12:00

土木構造物-1 Civil structures-1

Chairperson: 末富岩雄 (エイト技術開発)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-11-1	TS_20220228	観測波加振によるスロッシングと堆積物の舞い上がり振動実験	◎陳 時霖 (神戸大学大学院)
D-11-2	TS_20220046	構造物形状と緩衝材を活用した津波対策技術の検討	有賀義明 (弘前大学 大学院)
D-11-3	TS_20220201	高強度 PC 鋼棒をせん断補強筋とする RC 梁の鉄筋配置がせん断耐力に与える影響に関する研究	佐々木 智大 (株式会社大林組)
D-11-4	TS_20220043	ニールセンローゼ橋における交点クランプを有する 2 ケーブルの同時張力推定手法の改良	◎高鶴憲正 (京都大学大学院)
D-11-5	TS_20220116	中詰め材が石橋の固有振動数に及ぼす影響について	◎東 祐輔 (京都大学大学院)
D-11-6	TS_20220277	リアルタイムハイブリッドシミュレーションにおける解析負荷の増加が試験精度に及ぼす影響	◎津田葉 涼太 (京都大学大学院)
			全体プログラムへ戻る

D-12 15th of December 13:00-14:30

土木構造物-2, 地盤と構造物の相互作用-1 Civil structures-2, Soil-structure interaction-1

Chairperson: 佐々木智大 (大林組)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-12-1	TS_20220093	2016 年熊本地震において地表断層変位の作用を受けた橋梁添架管路の FEM 解析	◎松本拓郎 (筑波大学理工情報生命学院)
D-12-2	TS_20220240	2011 年東北地方太平洋沖地震における東京湾岸のインフラ構造物地点のサイト波の特徴	◎安原知輝 (筑波大学理工情報生命学院)
D-12-3	TS_20220155	インフラ・ライフライン構造物の地震被害に関わるレジリエンスデザイン	◎山本翔吾 (筑波大学理工情報生命学院)
D-12-4	TS_20220022	被災メカニズムに着目した堤体亀裂発生に関する被害事例分析	脇中康太 (熊本高等専門学校)
D-12-5	TS_20220076	充腹アーチ橋における中詰土の地震時挙動の把握を目的とした遠心模型実験	◎西村航平 (NEXCO 西日本コンサルタンツ株式会社)
D-12-6	TS_20220124	鉛直上下方向に作用する埋設管の管軸直角方向地盤反力に関する実験	◎緒方太郎 (神戸大学大学院)
			全体プログラムへ戻る

D-13 15th of December 14:45-16:15

地盤と構造物の相互作用-2 Soil-structure interaction-2

Chairperson: 有賀義明 (弘前大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-13-1	TS_20220117	高速道路盛土の地震被害形態の違いによるボックスカルバート目地部からの土砂流出過程の検討	◎諸井優太 (東京電機大学大学院)
D-13-2	TS_20220205	超高層 RC 造集合住宅の強震観測記録に基づく地盤・杭の水平変形率およびロッキング率の評価	森清宣貴 (鴻池組技術研究所)
D-13-3	TS_20220268	遠心载荷実験に用いるせん断土槽の重量が模型地盤の地震時挙動に及ぼす影響に関する一検討	中川博人 (建築研究所)
D-13-4	TS_20220215	2種類の地盤に対する杭頭絶縁基礎建物の地震応答性状	柏 尚稔 (大阪大学大学院)
D-13-5	TS_20220254	根入れを有する直接基礎杭基礎における地盤ばねの底面側面の寄与分離	◎山本 真太郎 (東京理科大学)
D-13-6	TS_20220031	大阪平野の杭支持された高層 RC 造建築物の長周期地震動に対する地震応答に関する解析的研究	◎森口 馨 (大阪大学大学院)
			全体プログラムへ戻る

D-21 16th of December 9:00-10:30

英語セッション/地盤地震動/土木構造物 English Session/Ground motion/Civil structure

Chairperson: Trevor Yeow (ERI, Univ. of Tokyo)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-21-1	TS_20220008	SOURCE MODELING DETERMINATION OF 1985 VALPARAISO EARTHQUAKE USING GRID SEARCH ALGORITHM	© Ronald Stephan Alvarez Reyes (Tohoku University)
D-21-2	TS_20220225	ESTIMATION OF SUBSURFACE VELOCITY STRUCTURE BY USING MICROTREMOR OBSERVATION IN UJI CAMPUS, KYOTO UNIVERSITY	© Thinzar Yadanar (Graduate School of Engineering, Kyoto University)
D-21-3	TS_20220085	Effects of Long-Period Ground Motion of the 2019 Central Luzon Earthquake on the Response of High-rise Buildings in Metro Manila, Philippines	© Mary Wenzel Andaya (Tokyo Institute of Technology)
D-21-4	TS_20220287	GENERATION OF ROTD100 SPECTRUM-COMPATIBLE BIDIRECTIONAL GROUND MOTIONS WITH SPECIFIC ORIENTATION ANGLE	© Jian Zhou (Kyoto University)
D-21-5	TS_20220184	THE CHARACTERISTICS OF STRONG MOTION RECORDING OF THE 2019 OFF THE YAMAGATA PREFECTURE EARTHQUAKE Mj6.7 OCCURRED ON JUN.18 2019	© Teng Limin (Nagaoka University of Technology)
D-21-6	TS_20220180	NUMERICAL MODELING ON FRACTURE OF SQUAT BRACE TO ANALYZE STEEL BRACED FRAME	Mohammad Rafiqul ISLAM (Graduate School of Engineering, Hokkaido University)

全体プログラムへ戻る

D-22 16th of December 10:40-12:10

英語セッション/建築構造物/免震・制振・ヘルスマニタリング-1 English session/Buildings and houses/Base isolation/structural control/health monitoring-1

Chairperson: Alex Shegay (Tokyo Institute of Technology)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-22-1	TS_20220282	SIMULATION OF THE OUT-OF-PLANE BEHAVIOR OF URM INFILLED RC FRAMES UNDER DYNAMIC EXCITATION	© ADNAN S M NAHEED (The University of Tokyo)
D-22-2	TS_20220108	Derivation and validation of force-deformation relationships for unreinforced confined masonry walls	© Andre Alberto Munoz Flores (Earthquake Research Institute, The University of Tokyo)
D-22-3	TS_20220227	Numerical Modeling of Steel Frame-Spine Systems for Seismic Performance Investigation	© Yi Qie (Graduate School of Engineering, Hokkaido University)
D-22-4	TS_20220139	DEVELOPMENT OF A DAMAGE EVALUATION TOOL FOR NON-INSTRUMENTED BUILDINGS USING MACHINE LEARNING	© TAIPICURI HUACRE Yenifer Carol (Earthquake Research Institute, The University of Tokyo)
D-22-5	TS_20220021	Experimental Investigation On The Seismic Performance Of CLT Shear Wall Infilled Steel Frame With Concealed Plate And Drift Pin Connection	© Richard YIP JE TOO (RISH, Kyoto University)
D-22-6	TS_20220047	DEFORMATION MODE-DEPENDENT SAFETY LIMIT ESTIMATION FOR BUILDINGS WITHOUT SENSORS ON SOME FLOORS: RESEARCH OUTLINE	© YEOW Trevor Zhiqing (東京大学 地震研究所)

全体プログラムへ戻る

D-23 16th of December 13:00-14:15

英語セッション/免震・制振・ヘルスマニタリング-2 English session/Base isolation/structural control/health monitoring-2

Chairperson: Alex Shegay (Tokyo Institute of Technology)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-23-1	TS_20220067	BUILDING RESIDUAL CAPACITY EVALUATION FOR FUTURE SEISMIC EVENTS USING CAPACITY SPECTRUM METHOD	© Kyungjin KIM (The University of Tokyo)
D-23-2	TS_20220016	IMPROVING THE ACCURACY OF PEAK BUILDING RESPONSE ESTIMATED FROM ACCELEROMETER DATA FOR STEEL FRAMES USING SDOF ANALYSIS	© Pham Quang Vinh (The University of Tokyo)
D-23-3	TS_20220286	SAFETY EVALUATION OF BUILDINGS WITH PRE-EXISTING DAMAGE	© Daniel SAAVEDRA MALDONADO (Graduate School of Engineering, University of Tokyo)
D-23-4	TS_20220049	SEISMIC DESIGN OF STEEL BUILDING FRAMES WITH RECENTERING HYBRID DAMPING BRACES	© Junlin LI (同済大学土木工学院/東京大学地震研究所)
D-23-5	TS_20220101	Machine Learning Based Nonlinear Parameter Identification for High Damping Rubber Bearing under Low Temperature	© Katrina Montes (Saitama University)

全体プログラムへ戻る

D-24 16th of December 14:30-15:45

英語セッション/免震・制振・ヘルスマニタリング-3, 防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題 English session/Base isolation/structural control/health monitoring-3, Disaster mitigation plan/risk management/socio-economic issues

Chairperson: Trevor Yeow (ERI, Univ. of Tokyo)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-24-1	TS_20220196	Evaluation of predominant frequency of 8-story RC building using observation records	© Pham Quoc Du (Nagaoka University of Technology)
D-24-2	TS_20220135	POST-EARTHQUAKE MULTICLASS DAMAGE DETECTION OF REINFORCED CONCRETE BUILDINGS USING QUANTUM CONVOLUTIONAL NEURAL NETWORK	© SANJEEV BHATTA (SAITAMA UNIVERSITY)
D-24-3	TS_20220182	CNN-BASED CHANGES DETECTION OF WAVEFIELD IN HIGH-RISE BUILDINGS DUE TO DAMAGES	© Aijia Zhang (Saitama University)
D-24-4	TS_20220187	BUILDING DAMAGE FEATURES IN SAR IMAGERY USING RAYTRACING SIMULATION	© Ho Chia Yee (International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University)
D-24-5	TS_20220023	DISASTER WASTE MANAGEMENT IN PACIFIC ISLAND COUNTRIES: A CASE STUDY OF 21ST CENTURY VOLCANIC ERUPTIONS	© Imogen Fong (Hokkaido University)

全体プログラムへ戻る

E-11 15th of December 10:30-12:00

杭および基礎構造-1 Pile and foundation-1

Chairperson: 柏尚稔 (大阪大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-11-1	TS_20220086	水平地盤反力係数と塑性水平地盤反力度を用いた杭の水平抵抗評価の感度解析	◎桐谷 凌 (日本大学大学院)
E-11-2	TS_20220172	パルス性地震動を受ける超高層 RC 造建物の建物・地盤の非線形性と基礎埋込みによる影響を考慮した杭応力評価	◎栗原大晟 (東京理科大学大学院)
E-11-3	TS_20220197	傾斜基盤を有する地盤上の杭基礎・建物による拘束が上下地震動の位相分布に与える影響	◎坂出潤弥 (東京理科大学大学院)
E-11-4	TS_20220087	遠心実験によるパイルド・ラフト基礎と杭基礎の地震時杭応答	鈴木康嗣 (鹿島建設株式会社 技術研究所)
E-11-5	TS_20220130	砂質地盤構成の違いに着目した組杭のせん断挙動に関する実験的検討	◎後藤源太 (株式会社高速道路総合技術研究所)
E-11-6	TS_20220253	柱状体基礎の地震時残留沈下特性に関するアルミ棒積層体を用いた模型水平載荷実験	◎磯部祐輝 (中央大学大学院)

全体プログラムへ戻る

E-12 15th of December 13:00-14:45

建築構造物-4, 耐震補強, 新しい構造・材料・その他 Buildings and houses-4, Retrofitting, strengthening. Innovative structures/materials and others

Chairperson: 中村友紀子 (千葉大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-12-1	TS_20220074	津波漂流船舶を模した鋼棒衝突時の RC 造柱の最大衝突力の評価	松川和人(東京大学 生産技術研究所)
E-12-2	TS_20220102	2階建て京町家試験体の静的水平加力実験	◎符 栄吉(京都大学)
E-12-3	TS_20220223	接合部降伏する RC 造ト形柱梁接合部における X 形補強の補強効果に関する解析的検討	◎高嶋勇太(大阪市立大学大学院)
E-12-4	TS_20220127	CLT パネルと鉄骨によるハイブリッド構造システムの提案その 1 CLT 耐震壁と鉄骨架構による 4 階建てオフィス建築の検討	◎峯岸 新(東北大学大学院)
E-12-5	TS_20220140	CLT パネルと鉄骨によるハイブリッド構造システムの提案その 2 CLT 壁柱と鉄骨梁による 4 階建て集合住宅建築の検討	◎高橋里菜(東北大学)
E-12-6	TS_20220006	集成材を内蔵した RC ハイブリッド梁の曲げ性能に関する実験的研究	田口 孝(矢作建設工業株式会社 エンジニアリングセンター)
E-12-7	TS_20220110	ひずみ時効による強度上昇および延性低下に影響を及ぼす材料特性の特定	◎岡村光晋(東京工業大学 環境・社会理工学院)

全体プログラムへ戻る

E-21 16th of December 9:00-10:30

建築構造物-5 Buildings and houses-5

Chairperson: 毎田悠承 (東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-21-1	TS_20220115	曲げ降伏型鉄筋コンクリート部材に対する補修後の構造性能の回復度の評価	◎永井智基 (東北大学大学院)
E-21-2	TS_20220078	非線形有限要素解析による補修後の曲げ降伏型 RC 造耐震壁の性能評価	◎中田幹久 (株式会社大林組 技術研究所)
E-21-3	TS_20220152	高強度鋼繊維補強コンクリートの引張特性に関する基礎的研究	◎月岡鈴華 (芝浦工業大学)
E-21-4	TS_20220145	接着系あと施工アンカーを用いた増設スラブの耐火性能に関する実験的研究	有木克良 (国立研究開発法人 建築研究所)
E-21-5	TS_20220083	試設計による CES 構造の低層建築物への適用に関する研究 - SRC 構造低層建築物を例とした合理的な断面の検討 -	◎宇都宮 陸 (日本大学大学院)
E-21-6	TS_20220091	CHARACTERISTICS OF STRAIN AGEING IN SD345 REINFORCEMENT AND ITS EFFECTS ON REPAIRED STRUCTURES	◎ Alex Shegay (東京工業大学)

全体プログラムへ戻る

E-22 16th of December 10:40-12:10

構造物 その他 Structures Others

Chairperson: 松川和人 (東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-22-1	TS_20220259	周辺のセンサー設置建物のデータを援用した非設置建物の被災度判定手法に関する研究	◎毛利未来 (東京大学大学院)
E-22-2	TS_20220121	CNN を用いた外観画像による建物情報の自動識別モデルの構築	◎杉永萌夏 (埼玉大学)
E-22-3	TS_20220157	航空レーザ計測データを用いた建築物の損傷評価に関する検討	本間信一 (国際航業 株式会社)
E-22-4	TS_20220075	地震応答解析による家具転倒率と 3DCG シミュレーションの比較検討	中村 友紀子 (千葉大学大学院工学研究院)
E-22-5	TS_20220118	地震時における建築用板ガラスへの衝突物に対するフィルム貼付による被害低減効果の検証	◎李 昊洋 (神戸大学)
E-22-6	TS_20220070	中性子イメージング技術を用いた接着系あと施工アンカーにおける接着剤未充填部の特定手法	◎崔 烘福 (東京理科大学)

全体プログラムへ戻る

E-23 16th of December 13:00-14:15

建築構造物-6 Buildings and houses-6

Chairperson: 山田耕司 (豊田高専)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-23-1	TS_20220084	角形 CFT 柱の変形能力に関する研究 -限界部材角の考察-	◎助川海都 (日本大学大学院)
E-23-2	TS_20220064	長方形 CFT 柱-梁接合部通しダイアフラムに関する実験的研究	◎大石 琴 (日本大学大学院)
E-23-3	TS_20220089	円形 CFT 柱の構造性能に関する実験的研究 -柱長さによる比較-	◎堀紗友梨 (日本大学大学院)
E-23-4	TS_20220200	CLT ロッキング壁柱における力学的挙動と構造性能評価	◎犬塚千聖 (名城大学)
E-23-5	TS_20220171	CLT 連層耐震壁を用いた構造物の実大振動台実験と解析的検証	◎堀江優一 (京都大学生存圏研究所) 全体プログラムへ戻る

E-24 16th of December 14:30-15:45

建築構造物-7 Buildings and houses-7

Chairperson: 藤本利昭 (日本大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
E-24-1	TS_20220146	CLT パネルと鉄骨によるハイブリッド構造システムの提案 その 3 提案する構造システムの資材製造段階における環境性能の検討	◎津田和輝 (東北大学大学院)
E-24-2	TS_20220288	一般住宅用金物を用いた CLT パネル建築物の静的倒壊実験	◎百瀬 奏 (京都大学生存圏研究所)
E-24-3	TS_20220001	通し柱による 2 階建て在来軸組木造住宅の層間変形角の均一化	山田耕司 (豊田高専)
E-24-4	TS_20220120	木摺漆喰の各層に用いられる漆喰の圧縮強度特性	松本直之 (東北大学)
E-24-5	TS_20220284	真壁パネル耐力壁の構造性能評価と釘接合に着目したバネモデル作成手法	◎増田 颯 (名城大学大学院) 全体プログラムへ戻る

F-11 15th of December 10:30-12:00

免震・制振・ヘルスマニタリング-1 Base isolation/structural control/health monitoring-1

Chairperson: 向井智久 (国総研)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-11-1	TS_20220280	鉄骨造体育館の微小ひずみ計測に基づく小地震時の曲げモーメント分布評価	◎涌井将貴 (新潟工科大学)
F-11-2	TS_20220246	MeSO-net 観測記録を用いたパルス性地震動に対する超高層 RC 造建物の応答と動的相互作用効果の評価	◎堤 俊介 (東京理科大学大学院)
F-11-3	TS_20220060	連続 Wavelet 変換を用いた特定モード抽出法に関する研究	◎ AN JIHYEON (東京大学大学院)
F-11-4	TS_20220009	少数の加速度センサーによる性能曲線に関する考察	◎陳 辰 (東京大学大学院)
F-11-5	TS_20220148	加速度センサによる観測記録に基づく鉄筋コンクリート建築の応答予測と被害推定 その1 性能曲線の修正方法についての検討	◎大野歩美 (東北大学)
F-11-6	TS_20220166	加速度センサによる観測記録に基づく鉄筋コンクリート建物の応答予測と被害推定 その2 Response prediction and damage evaluation of a reinforced concrete structure	◎ YI Zhuoran (Graduate School of Engineering, Tohoku University)
			全体プログラムへ戻る

F-12 15th of December 13:00-14:30

免震・制振・ヘルスマニタリング-2 Base isolation/structural control/health monitoring-2

Chairperson: 井澤保一 (日本設計)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-12-1	TS_20220104	屋外にある実大架構を対象とした各種計測装置から得られる応答変位の精度検証	◎吉田まほ子 (東京理科大学大学院)
F-12-2	TS_20220080	実大架構を用いた安価な加速度センサの計測性能評価に関する基礎研究	向井智久 (国土技術政策総合研究所)
F-12-3	TS_20220030	MEMS 加速度センサを用いた長スパン RC 片持ち部材の変形測定	◎佐田和寛 (東京工業大学 環境・社会理工学院)
F-12-4	TS_20220283	地震観測記録を用いた橋梁の損傷状態推定	◎今井克実 (群馬工業高等専門学校)
F-12-5	TS_20220237	木造枠組壁工法 6 階建て実大実験棟を対象としたローコスト MEMS 加速度センサの建物常時微動計測への適用性の検証	◎小阪宏之 (戸田建設技術研究所)
F-12-6	TS_20220082	建築構造物の損傷評価に向けた粒子フィルタによる非線形時変システム同定	◎石坂凌司 (茨城大学大学院)
			全体プログラムへ戻る

F-13 15th of December 14:45-16:15

免震・制振・ヘルスマニタリング-3 Base isolation/structural control/health monitoring-3

Chairperson: 小阪浩之 (戸田建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-13-1	TS_20220105	ディープラーニングを用いた建物地震損傷推定法の精度分析	◎ GANBAT NYAMKHUU (電気通信大学大学院)
F-13-2	TS_20220203	歩行と転倒を考慮した人体の地震応答解析モデルに基づく人間の地震時避難行動可能性評価	◎佐久間 栄己 (茨城大学大学院)
F-13-3	TS_20220068	地震動レベルの増大に伴う応答塑性率の変化に着目した免震構造と耐震構造の比較	井澤保一 (株式会社 日本設計)
F-13-4	TS_20220077	数値流体解析による免震建物に作用する津波荷重と応答評価に関する研究	◎宇佐美 孝典 (明治大学大学院)
F-13-5	TS_20220066	Control effectiveness of an innovative rocking isolation bearing system (RIBS) on excessive bridge responses under unanticipated earthquakes	◎ Xinhao HE (東北大学大学院)
F-13-6	TS_20220103	鉛プラグ挿入型積層ゴムの繰返し変形による特性変化を考慮した応答スペクトル法に基づく免震建物の地震応答予測一有効塑性率を用いた等価線形化法一	◎佐藤啓太 (明治大学大学院)
			全体プログラムへ戻る

F-21 16th of December 9:00-10:30

免震・制振・ヘルスマニタリング-4 Base isolation/structural control/health monitoring-4

Chairperson: 須田達 (金沢工大)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-21-1	TS_20220032	観測された強震動に対する免震建物の免震層変位応答量に関する研究	◎岡本尚大 (高知工業高等専門学校)
F-21-2	TS_20220206	免震支承及び環境負荷低減材料を使用したRC橋脚の環境負荷低減効果に関する研究	◎篠原弘充 (京都大学大学院)
F-21-3	TS_20220081	中小地震レベルでの免震性能を考慮した空気浮上式免震システムの振動台実験による性能評価	◎荒巻巧任 (東京電機大学)
F-21-4	TS_20220004	変位制御材と磁石を用いた基礎絶縁建物模型の振動台実験と三次元FEM解析	◎中野尊治 (大阪大学大学院)
F-21-5	TS_20220285	プレストレスを導入したオイルダンパー木質制振架構の力学的特性の把握	◎坂本 遼 (名城大学)
F-21-6	TS_20220262	液状化対策を適用した鉱さい堆積場斜面の地震応答の長期モニタリング	山田岳峰 (鹿島技術研究所)
			全体プログラムへ戻る

F-22 16th of December 10:40-12:10

免震・制振・ヘルスマニタリング-5, 建築構造物-8 Base isolation/structural control/health monitoring-5, Buildings and houses-8

Chairperson: 岡田敬一 (清水建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-22-1	TS_20220112	振動台実験に基づく伝統木造建築物の制震ダンパー補強に関する研究	須田 達 (金沢工業大学)
F-22-2	TS_20220012	大振幅オイルダンパーシステムの実大加力試験	杉本浩一 (清水建設技術研究所)
F-22-3	TS_20220005	複素減衰を有する多質点系モデルの固有値問題と伝達関数	安井 譲 (早稲田大学)
F-22-4	TS_20220169	マルチレートカルマンフィルタを用いた建物地震時応答の動画と加速度観測データの融合による層剛性と振動特性の推定	◎李 尚元 (東京大学大学院)
F-22-5	TS_20220255	4層曲げせん断型試験体の Q- $\Delta$ 共振実験	◎甲斐凌平 (慶應義塾大学大学院)
F-22-6	TS_20220020	地震応答解析に震度7の地震波を用いた時の外力のフーリエ補間について	犬飼瑞郎 (国土交通省国土技術政策総合研究所) 全体プログラムへ戻る

F-23 16th of December 13:00-14:15

建築構造物-9 Buildings and houses-9

Chairperson: 山田岳峰 (鹿島建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-23-1	TS_20220028	3次元立体フレームモデルの応答データベース構築の試み	◎郷原昌樹 (兵庫県立大学大学院)
F-23-2	TS_20220204	加速度地震観測データを用いた周波数伝達関数による建物全層応答推定手法の適用	岡田敬一 (清水建設 技術研究所)
F-23-3	TS_20220045	回転地震計と並進地震計により観測された常時微動に基づく鋼構造実大架構試験体の振動特性評価	◎周 宇廷 (京都大学大学院)
F-23-4	TS_20220239	長周期地震動によるセンターコア型二軸対称超高層建物の Q- $\Delta$ 共振に関する立体骨組解析	◎牧 栞里 (慶應義塾大学大学院)
F-23-5	TS_20220170	超高層 RC 建物の長期間の地震観測記録による建物振動特性について	保井美敏 (戸田建設技術研究所) 全体プログラムへ戻る

F-24 16th of December 14:30-15:30

地中構造物およびダム Underground structure/dam

Chairperson: 志賀正崇 (東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
F-24-1	TS_20220226	地震時開削トンネルと周辺地盤の剛性比に着目したせん断土槽実験～回転拘束した函体着底条件での実験的検討～	◎西野風雅 (中央大学)
F-24-2	TS_20220079	地震波を模擬した静的水平交番載荷実験による乾燥砂地盤上直接基礎橋脚模型の地震時残留沈下量に関する実験的研究	◎川田草貴 (中央大学 理工学研究科)
F-24-3	TS_20220264	鉛直地震動を考慮した地震時盛土斜面の滑り変位評価	蒋 景彩 (徳島大学 環境防災研究センター)
F-24-4	TS_20220097	逆断層変位を受ける埋設管の変形	谷山 尚 (埼玉大学) 全体プログラムへ戻る